



## 国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎  
郡山アーバンロータリークラブ 会長 白岩 邦俊  
幹事 松川 義行



インスピレーションに  
なろう

## 第 14 回 例会 H.30.10.17 (水) ☁

- ▶開会点鐘 ロータリー歌斉唱「それこそロータリー」 四つのテスト唱和 小林悦子さん
- ▶ゲスト 平井義郎ガバナ(福島中央RC)ー 飯島成一 ガバナー補佐(郡山西北RC)  
阿部光司 中央分区幹事(郡山西北RC)

### ガバナー公式訪問

- 9:30 ~ 会長幹事会
- 10:30 ~ クラブ協議会
- 12:30 ~ 例会

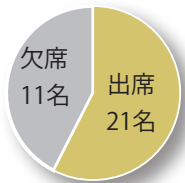
### 会長挨拶

白岩 邦俊 会長

例会に先立ち、会長幹事会でガバナーから丁寧な説明の研修を受けました。大変感銘を受け、クラブ運営に役立てていこうと思います。クラブ協議会でもさらに詳しく説明をいただきました。ガバナー公式訪問は大変なことと思いますが、体に気を付けて頑張ってくださいと思います。

### 出席報告

増子ふみえ 副委員長



会員数 32名  
出席率 65.63%  
前回修正率 59.38%

メイクアップ: 藤田弘美

### スマイルBOX 報告

渡邊孝子 委員長

- 😊 平井義郎様 😊 飯島成一様 😊 阿部光司様
- 😊 白岩邦俊 ▶平井ガバナーの訪問ありがとうございます。
- 😊 松川義行 😊 佐藤功一 😊 鈴木かおる 😊 鈴木尚子
- 😊 采女真弓 😊 向山良作 😊 飯原由香 😊 増子ふみえ
- 😊 蔭山寿一 😊 渡邊万里子 😊 滝田幸子 😊 宗形千鶴
- 😊 石堂勝壽 😊 大山三起雄 😊 小林真砂子 😊 渡邊孝子

### 米山功労者表彰伝達

白岩 邦俊 会長



藤田弘美さんが第 5 回マルチプル米山功労者となりました。

### 飯島 成一

ガバナー補佐(郡山西北RC)



連絡事項を 3 点ほど申し上げます。まずマイロータリーの登録です。IT委員会が登録 100%を目指す資料にありましたが、10 月 15 日現在で 56.3%です。地区目標は 60%ですので、ぜひ 100%に向けて邁進していただければと思います。

11 月 24 日(土)に地区大会が会津若松で開催されます。今年は戊辰の役 150 周年で、記念講演は会津出身で元NHKの柳沢秀夫さんです。ぜひ地登録とご参加をお願いしたいと思います。

来年 2 月 2 日(土)に郡山西北RCの担当でインターシティ・ミーティングがビューホテルアネックスで開催されます。会員全員登録ですので万障お繰り合わせの上ぜひご参加いただきたいと思います。

### プログラム/ガバナー卓話

#### 平井 義郎 ガバナー



日本のロータリー 100 周年を記念して、実行委員会が 34 個の鐘を作り、各地区に 1 個ずつ贈呈されました。1920 年 10 月 20 日に米山梅吉さんが東京RCの第 1 回例会を開催して以来、来年で 100 周年を迎えます。これに当たり、今年度からガバナーが各クラブに持参して会

長さんに点鐘してもらうということでお持ちしました。台座には 2530 地区の 66 クラブが創立順に載っていますが、昨年度末に須賀川南RCが解散して 65 クラブになってしまいました。





今にも増して多くの会員に集まって大きくしていただき、ロータリーの存在を高めて 100 周年を祝おうということです。

7 月に西日本災害について皆さんにご協力をお願いし、被災地区のうち 5 地区に送金しました。また北海道地震には、地区の復興基金から送金させていただきました。復興基金からの支援等が皆さんに伝わるのが遅れてしまい、クラブとしてどうするかとの声も多々あり、皆さんのお気持ちも大切だと考えました。お陰様で地区の復興基金も元に戻るほどになりました。

ガバナーには、地区内の全クラブを訪問することが役割として与えられております。主な目的は、会員皆様の意欲を高め、支援を提供することです。指導するという強いものではありません。国際ロータリー (R I) の会員はクラブです。地区は R I の連絡・伝達等をする中間の役割です。クラブがより活発に、明るく元気に奉仕活動に邁進し、大きくなっていくよう、便宜や方法を相談し、地区委員会を使って皆さんをサポートする役割です。本来は地区で事業を行うことはありません。クラブに対する支援をし、奉仕プロジェクトへの参加意欲を喚起することです。会員がなくなるとはクラブが存在しません。会員の皆さんを大事にして、仲良くやっていくクラブ作りをして、その中で奉仕活動を行っていくことが大事であることを皆さんにご理解していただくことが役割です。

一生懸命にやっている奉仕活動を認めてもらうことも必要となってきました。活動の評価が大きければやりがいも出てきます。地域社会の中でロータリーの存在が認められてくると、会員増強も楽になりますので、クラブの活動を地域社会に認知してもらうために支援していくことが役割になっています。入会者にとって魅力があり、現会員が満足できるような活気あるクラブを作るために、柔軟なクラブ運営や新しい試みを取り入れることが課題です。そのために 2016 年の規定審議会でいろいろな部分で柔軟性を出せるような形になりました。会員増強のためには入会しやすいクラブ運営に変えていくことが必要であり、魅力あるクラブ作りが大事になってきます。そのためには一部の方の判断ではなく、会員皆さんがお互いに話し合い、良いことを試してみて次に進め、クラブがさらに元気になることが必要になります。また、ロータリーには定年がありませんから、現会員の満足を得ていくことも皆さんで考えていかなければなりません。特定の方が話をしたり考えるのではなく、皆さんの考えや思いをひとつずつ試し、良いものを残していくことで進めていくことがとても大事です。そのことをよく理解していただき、現会員が満足できる運営を考えていきたいと思えます。3 年間は年会費を割り引くとか、年金生活者の減免措置、長期休会の方の対応をどうするかなど、いろいろな問題をひとつずつ考えていくことが必要になるのではないかと思います。それらを含めて運営を見直し、将来につなげていくことが大事になるかと思います。

ロータリーの重要な問題について、皆さんの関心を高めることが私のひとつの役割です。そのひとつが会員増強です。少子高齢化の中で、ロータリーの存続が懸念されています。十何年間、世界の会員数が 120 万人台からほとんど動いていません。入会者は多いのですが、その分だけ退会し、「穴の開いたバケツ」と表現されています。

特に先進諸国の会員減少が懸念されています。発展途上国ではクラブ数も会員数も増えてきています。先進諸国は「してあげる」側ですが、発展途上「してもらいたい」側です。負担のバランスが崩れつつあるということです。今にも増してよいことをしていくためにはクラブ運営の見直しが大事であり、会員増強にも大きく目を向けていただければと思います。

ポリオ撲滅は R I の重点事項とされています。3 年前にはパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの 3 か国に発生がありました。去年ナイジェリアはゼロになりました。現在は 2 か国で 18 の症例があります。「ロータリーの友」にも書いてあるように、感染経路の追跡と監視活動を続けなければ、多くの感染者が出てきてしまいます。一生治らない後遺症が出る危険性のあるポリオを見逃すことはできないということです。医療費・介護のための子孫の負担も避けなければなりません。そのためにポリオ撲滅にもご支援いただければと思います。

ポール・ハリスは 1915 年 2 月号のロータリアン誌に「今から 100 年後にロータリーはどうなっているでしょうか。生きている人には想像もつきません」と書いています。今まさにその状況にあります。今日は 48 番目の公式訪問です。ロータリーには定年制はないので、最後まで充実した形で過ごしていただきたいと思えます。ロータリーでは寛容という言葉がよく使われます。ポール・ハリスは「全員の一致はとても期待できるものではありません。15 万のロータリアンのうち二人として意見が完全に同じということはないでしょう。指導者たる者は忍耐と慎みを持って柔軟な判断を下さなければならなりません」と言っています。それぞれの個性を生かしながら、相手を理解して、仲良くやっていくことが大切だということだと思えます。郡山アーバン RC が今にも増して大きくなり、いろいろな活動をされて、元気なクラブになっていただきたいと思えます。



#### ロータリー財団寄付者

■ 鈴木かおる ■ 鈴木尚子

#### 米山記念奨学会寄付者

■ 蔭山寿一 ■ 大山三起雄 ■ 滝田幸子 ■ 増子ふみえ  
■ 采女真弓

#### ポリオ寄付者

■ 蔭山寿一 ■ 小林悦子

#### ▶ 閉会点鐘